



コミュニティ政策学会

コミュニティ政策学会

Japan Association for Community Policy

Newsletter No.15

(2008.2.15)

第7回 シンポジウムのご案内

『自体の合併と地域の自立』 ～協働社会のコミュニティ政策を展望する～

開催主旨

市町村の広域合併は、都市部と中山間地でそれぞれの課題を抱えている。とりわけ、北遠地域（天竜区）に限界集落を抱える浜松市にとって、地域のコミュニティ政策は今後の協働社会の可能性を展望する上で重要なテーマとなっている。今回の合併の意味を改めて検討しつつ、地域の自治を考える機会としたい。

開催日時：2007年3月30日（土） 13時30分から17時

開催場所：アクトシティ 浜松 43会議室

静岡県浜松市板屋町 111-1 Tel：053-451-1111

HP：http://www.actcity.jp/

アクセス：車でお越しの方

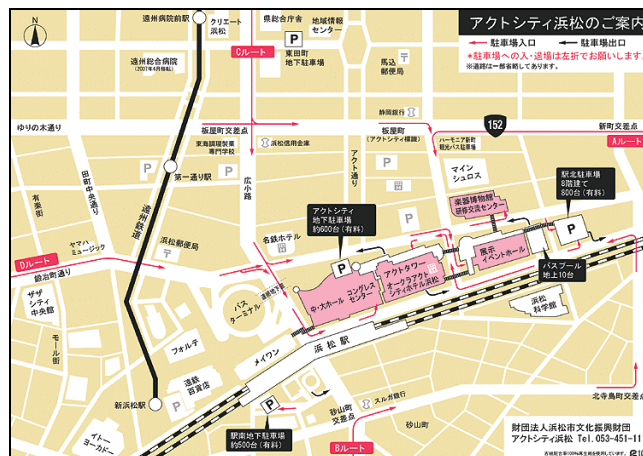
名古屋方面から・・・東名高速浜松西IC

東京方面から・・・東名高速浜松IC

電車でお越しの方

在来線・新幹線とも JR 浜松駅を利用

JR 浜松駅から徒歩で5～10分程



【電車でお越しの方】



【車でお越しの方】

内容

特別講演：鈴木康友 浜松市長

事例報告：浜松市の取り組み

恵那市の取り組み

その他

（事例報告の詳細は、決まり次第ホームページにて
ご案内させていただきます。）

パネルディスカッション：

コーディネーター：鈴木 誠（岐阜経済大学教授）

主催：コミュニティ政策学会

後援：浜松市

コミュニティ政策学会 第6回大会報告

2007年7月7・8日 早稲田大学

今年度のコミュニティ政策学会第6回大会は、7月7・8日（土・日）の両日、早稲田大学にて開催された。大会テーマは、『分権改革と地域再生～地方から東京へのメッセージ～』であった。初めての東京開催で参加者人数が心配されたが、全国から189名（会員110名、非会員79名）の参加を得て盛大に開催することができた。このように盛況のうちに大会を終了することができたのは、現地の早稲田大学の心温まるもてなしの気持ちと献身的な企画・実行委員会のご努力の結果であり、心から謝意を表したい。

第1日目は、大会に先立ち午前中に理事会（議事録別添）が開催され、午後1時半から第6回総会が開催された。総会は山口理事の司会で始まり、中田会長、鳥越理事の挨拶の後、中西理事を議長に選出、議事が進められた。

報告事項として各研究プロジェクトからそれぞれ経過報告があり、石田副会長から「地方議会の活性化」をテーマにした第5研究プロジェクト新設について説明があった。他に事務局から学会協議協力学術研究団体への登録が6月21日付で完了したことが報告され大会は時間通り終了した。

休憩の後、第1日目は早稲田大学大学院公共経営研究科教授の北川正恭氏による基調講演『分権改革と地域再生』で始まった。北川氏の講演は三重県知事時代の説得力ある体験から始まり、最後は「地域から国が変わる大会になることを願う」と力強く締めくくられた。引き続きシンポジウムに移り、名和田是彦氏（法政大学法学部教授、総務省コミュニティ研究会座長）をコーディネーターに迎え、内海宏（特定非営利活動法人横浜プランナーズネットワーク理事長）、篠田昭（新潟市長）、玉野和志（首都大学東京人文科学研究科准教授）、御園慎一郎（内閣官房内閣審議官）、山田啓二（京都府知事）の5名のパネリストからそれぞれの立場をふまえてコミュニティをベースにした地域再生の可能性について報告があった。最後に名和田コーディネーターが国、県、市町村それぞれが直接コミュニティに入ろうとしている時代であるとまとめられたのは印象的であった。

第1日目の議論を終えて、大隈会館にて懇親会が開催された。開催校である鳥越理事の歓迎の挨拶と次回開催地である篠田新潟市長の乾杯の後、質の高い料理と議論を楽しむことができた。

2日目は、5つの分科会が開催された。第1分科会「近隣政府と地域分権：市町村合併後の地域自治組織とコミュニティづくり」、第2分科会「コミュニティの国際比較：諸外国におけるコミュニティ組織の現段階」、第3分科会「地域自治システム：大都市における地域住民組織の現段階」、第4分科会「自由論題①：住民活動と自治」、第5分科会「自由論題②：まちづくりとネットワーク」である。それぞれの分科会で貴重な報告と熱心な討議が交わされた。その内容と成果は、学会の機関誌「コミュニティ政策6」にまとめられ、市販（会員には無料配布）される予定である。

（文責：コミュニティ政策学会事務局）



北川 正恭 氏



コミュニティ政策学会 第11回理事会 議事録

日時：2007年7月7日（土） 午前10時30分～午後12時30分

場所：早稲田大学 人間総合研究センター分室の会議室

出席者：中田実、石田芳弘、木原勝彬、鯉坂学、菊池美代志、篠田昭（代理：秋山）、鈴木誠、直田春夫、田中義岳、玉野和志、鳥越皓之、中川幾郎、中西晴史、名和田是彦、細江茂光、山口祐子、山崎丈夫、伊藤雅春（事務局）

議長：中田 實

議事

【審議事項】

第1号議案 事務局活動の承認：事務局担当理事から、昨年度の事務局活動について説明があり、異議なく承認された。

第2号議案 入会者の承認：第10回理事会（2007年3月に八王子市で開催）以降の入会申し込み者、個人会員11名の名簿が事務局から紹介され、全員異議なく承認された。この間の退会者は、一般会員4名、団体会員1名であり、本会の会勢は一般会員239名、学生会員34名、団体会員13名の規模となった。

第3号議案 第6回総会への提案事項の承認：①2006年度事業、会計決算、監査報告の承認：事務局担当理事から決算報告（案）の説明があり、併せて監査報告があった。

②2007年度事業計画案の承認：第7回シンポジウムの開催（鈴木理事）については国のコミュニティ政策の動向に合わせて開催する旨提案があった。次に機関誌『コミュニティ政策6』の刊行（中川理事）について説明がありそれぞれ異議なく承認された。

③プロジェクト研究グループの活動の承認：各研究プロジェクトについて報告された後、鈴木研究企画委員長から地方議会の活性化をテーマとする第5研究プロジェクトの新設について提案があった。当面石田理事を中心に参加者を募ることが承認された。

④学会費の値上げ案の承認：昨年度提起された会費値上げ案について検討の経緯が事務局担当理事より説明された。団体会員の内、NPO等については

10,000円とすることについて議論があり、会費を10,000円とする団体については常任理事会で判断することとなった。

⑤2007年度会計予算案の承認：会費の値上げを前提とした予算案について事務局担当理事より説明があった。費目として繰越金が多いことについて指摘があり、次年度以降運営強化のための基金のようなものを作る必要が指摘された。併せて学会費の収入について実勢に合わせた予算組とすることについて提案されたが、今年度の予算案は提案通り承認された。

⑥第4期役員を選任手続きと選考委員の選任について：役員選考のための委員会委員7名について中田会長より提案され（石田、木原、直田、田中、名和田、中田、事務局担当理事）承認された。

⑦第7回大会の日程と開催場所について：次回大会の開催地について新潟市が提案され7月5・6日（土・日）の開催日とともに承認された。

第4号議案 第6回大会の運営について：総会の司会は山口理事、開会の挨拶を中田会長、開催校挨拶として鳥越理事、議長は中西理事で総会の運営にあたることになった。

【報告事項】

名和田理事から国のコミュニティ政策策定の現状とそれへの対応について報告があった。全体として市町村合併や道州制など地域的なまとまりが大きな規模の方に行く傾向のある中で、国としてもコミュニティに注目し、何らかの対応組織（課ないし室）を作ろうとしている点は注目すべきである。

最後に事務局より学術会議協力学術研究団体への登録が6月21日に完了したことが報告された。

会告 15-1：学会理事を公募について

さる7月に早稲田大学で開催された第6回大会における会員総会で提案されましたように、本学会の活動の全国的な展開をめざして、第4期理事（任期2008.7-10.6）を公募します。会員はどなたでも応募できますが、理事の出ていない地域からの応募を特にお待ちします。

理事の定数は役員を含めて40名で、現在の第3期の理事数は31名です（『コミュニティ政策』No.5、p.133参照）。理事会は通常は年2回程度で、たいていは大会やシンポジウムと合わせて開催していますので、それほどの負担にはなりません。むしろ各地の情報の発信や、地域独自の活動の組織化、活性化などを担ってくださることを期待しています。

応募のご意思をお持ちの方は、2008年2月末日までに、学会事務局（愛知学泉大学/a-compol@gakusen.ac.jp）にお知らせください。地域と選出分野（研究・行政・市民活動）を調整の上、同3月開催の理事会で審議し、7月の新潟大会時の総会で決定します。

ご質問も事務局へどうぞ。積極的にご応募ください。（学会常任理事会）

コミュニティ政策学会会員動向（2007年3月20日から2007年6月30日）

新入会員

2007年7月7日（土）理事会承認

	個人会員	所属等	推薦人	分類
1	若杉 英治	大分大学大学院福祉社会学科研究科	伊藤雅春	学生
2	服部 敦	内閣官房・内閣府 構造改革特区・地域再生担当参事官補佐 中部大学中部高等学術研究所 教授	木原勝彬	個人
3	河合 修	岐阜県庁	鈴木誠	個人
4	佐藤 彰彦	一橋大学 国際・公共政策大学院 公共政策プログラム所属	伊藤雅春	個人
5	絹川 正明	地域共生研究所	木原勝彬	個人
6	三村 聡	愛知学泉大学 コミュニティ政策学部	明瀬政治	個人
7	佐宗 満	南山大学総合政策研究科、三重県庁	遠藤宏一	学生
8	佐藤 克廣	北海学園大学	長谷部英司	個人
9	富永 聡	(株)日本総合研究所	山崎丈夫	個人
10	和田 清美	首都大学東京大学院 人文科学研究科	菊池美代志	個人
11	伊藤 順一	兵庫県議会議員	田中義岳	個人

退会希望

	団体会員	団体名	推薦人	分類
1	土屋 侯保	大和市長		

	個人会員	所属等	推薦人	分類
1	梁瀬 和男	愛知学泉大学		
2	細野 助博	中央大学総合政策学部		
3	中島 幸雄	NPOなんでもサポートセンター岐阜		
4	小谷野 錦子	愛知学泉大学		

コミュニティ政策学会 Newsletter No.15

愛知学泉大学 コミュニティ政策研究所内 〒471-8532 愛知県豊田市大池町汐取1

Tel:0565-35-7031 Fax:0565-35-7020

e-mail:a-compol@gakusen.ac.jp http://www.gakusen.ac.jp/commu/a-compol/

発行日 2008年2月15日 編集 事務局 伊藤、丹羽